



2019年2月22日

各 位

会社名 株式会社 ツヴァイ  
代表者 代表取締役社長 後藤 喜一  
(コード番号：2417)  
問合せ先 経営管理本部長 福島 徹  
(TEL：03-6858-6544)  
当社の親会社 イオン株式会社  
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
(コード番号：8267)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月期（2018年3月1日～2019年2月28日）について、2018年4月11日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

#### 記

#### 1. 2019年2月期通期業績予想の修正（2018年3月1日～2019年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,700	百万円 30	百万円 60	百万円 12	円 銭 3.03
今回業績予想 (B)	3,530	△175	△142	△183	△46.26
増減額 (B-A)	△170	△205	△202	△195	△49.29
増減率 (%)	△4.6	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 2018年2月期	3,652	△193	△167	△213	△54.12

#### 2. 修正の理由

2019年2月期は、リブランディングを目指し、ブランディングムービーを活用した積極的な広告宣伝およびマリッジコンサルタントの投入人時の増加など営業体制の強化を実施してまいりました。また、4月より新たに会員さまがご自身で写真とプロフィールから検索したお相手候補にコンタクトできる「インプレッションマッチングサービス」を導入するとともに、マリッジコンサルタントによるサポート強化など出会いの機会の拡大に努めてまいりました。

上記取り組みにより成婚者は増加しましたが、新規入会者は、計画を下回り、退会者が新規入会者を上回ったことにより会員数が減少しました。これにより、入会初期費用売上は計画比10%減、月会費売上は計画比2%減、周辺事業売上は計画比20%減となる見込みとなりました。

営業費用につきましては、販売費及び一般管理費を各種契約の見直しによる設備費の削減や業務のデジタル化による人件費、通信費の削減等により計画比2%削減させたものの、売上原価が映像媒体等の販促費の増加等により計画比3%増加となる見込みとなりました。

以上の結果、2019年2月期の売上高及び利益について計画差が発生する見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上